

令和元年度 第1回 神戸圏域地域医療構想調整会議（議事要旨）

1. 日 時 令和元年12月27日（金）13:30～14:37
2. 場 所 神戸市医師会館4階市民ホール
3. 議事内容 (1) 兵庫県医師確保計画について
(2) 兵庫県外来医療計画について
(3) 公立・公的医療機関等の再検証について

4. 主な意見

(1) 兵庫県医師確保計画について

○特に意見なし

(2) 兵庫県外来医療計画について

○委員

外来医療機能の偏在・不足等の情報を可視化して、新規開業者に情報提供するものの、事務局側には何の強制力もない。可視化するためのデータ集めに時間と労力を費やすだけ無駄ではないか。

○兵庫県医務課

確かに、自由開業制には触れない前提で計画を策定するためご指摘のとおりである。今回、国は当計画を策定すればそれで完結ではなく、実施状況を踏まえ、計画の運営を都度見直すよう示している。このため兵庫県でも計画単体で考えるよりも、長いスパンで取り組んでいくものと認識している。

○委員

当計画は、申請者が診療実態と乖離した申請書を提出したとしても、何の強制力もない。実態に即した偏在・不足状況のデータ集めはどのように行うのか。

○兵庫県医務課

新規開業者が書面で提出したものと、その後の実際の診療状況をどのように確認するのかについては、現時点で県として明確な回答は持ち合わせていないため、今回この意見は課題として受け止めさせていただく。

(3) 公立・公的医療機関等の再検証について

○委員

選定基準AもしくはBに該当となった理由(成績)を具体的なデータで提示してほしい。選定の詳細が十分に示されない中、一方的に再検証要請対象医療機関の判断表を提示されても、どの医療機関も納得できないのではないか。

また、平成29年6月の1か月分の診療実績のみを用いて判断することもどうかと思う。

○兵庫県医務課

兵庫県としても、様々な場を通じて、公表したデータを十分に活かすためにも国には具体的なデータを提示してほしいと再三要請している。また、令和元年9月の国による公表以降に設置された「地域医療確保に関する国と地方の協議の場」や、全国知事会、全国市町村会、市長会のメンバーが中心となり、国のやり方について意見交換を行いながら、国へも要請を行っているところである。なお、国からは、何らかの形で一定データを示すとの回答は得ている。

○委員

平成 29 年 6 月の 1 か月のみの診療実績で分析したとしても、当時の状況から 2 年も経過しており、状況が変わっている医療機関も多いとの意見が多数挙がっている。再検証要請対象医療機関の判断表は、あくまでも一つの参考データとして、データのみに固執せず、神戸圏域としては、地域の実情を踏まえて検討していきたい。

○兵庫県医務課

兵庫県としても、各圏域の地域医療構想推進の後押しができるよう、平成 30 年度の病床機能報告を速やかに確定させたい。また、各病院に依頼している病院アンケート調査を分析する中で、昨年度実施したアンケートの回答と比較しながら、各病院の実態を踏まえ、具体的な議論をしていただけるよう努めてまいりたい。